



味噌蔵町小だより

ときめき・かがやき・ひびき合い

1月

平成24年1月9日



新年明けましておめでとうございます “画竜点睛”

学校長 藤森 とも子

18日ぶりに、元気な子ども達の声が校舎内に響き、冷え切っていた学校に活気が漲りました。冬休みはいかがでしたか？子ども達の良い所を5つ以上見つける事ができましたか？今後は、見つけたよさを一層伸ばすように、続けて声かけをしていきましょう。言葉の持つ力は大きく、言葉によって励まされ、言葉によって落ち込み、言葉によって勇気づけられます。希望が持て、元気の出る言葉をたくさんかけてやって下さい。

さて、今年辰年。「辰」は、十二支の中で唯一実在しない架空の生き物で、「竜」にも置き換えられます。中国などでは縁起物として祀られます。「竜」のつくことわざには、「龍頭蛇尾」「竜のひげを蟻がねらう」「竜の鬚を撫で虎の尾を踏む」「竜馬の躓き」「竜を画いて睛を点ず」「竜の雲を得たるがごとし」「竜虎相うつ」「登竜門」「画竜点睛」「画竜点睛を欠く」「屠竜の技（とりょうのぎ）」「雲は竜に従い虎は風に従う」「虎口を逃れて竜穴に入る」などがあります。

どれも勢いがあり、躍動感を覚えるものです。私は、「画竜点睛（がりょうてんせい）」（事を完成するために、最後に加える大切な仕上げのたとえ）が好きです。中国の画家が、金陵の安楽寺の壁にかいた竜に睛（ひとみ）を入れたら、たちまち雲に乗って昇天したという「歴代名画記」から生まれた諺とされています。一方「画竜点睛を欠く」（よくできていても、肝心なところが欠けているために、完全とはいえないこと。）として使われる事も多くあります。いずれも、最後の仕上げによって、結果がよくも悪くもなるということだと思えます。

1月からの3ヶ月は、まさに平成23年度最後の大切な仕上げの時です。3ヶ月をしっかりと取り組むことで、一人一人の子どもが確かな力と逞しさをしっかりと身につけ、「やさしく、直く強く」育つはずで。職員一同精一杯指導していきます。本年もよろしくお願いたします。

○「あいさついっぱい学校にしよう」に取り組んでいます

4月から児童会が中心となり、あいさつ運動に取り組んでいます。自分から進んであいさつする子が増えてきています。1月は10日から17日をあいさつ強化週間として、全校の一人ひとりが寒さに負けずに元気な声を出して、あいさついっぱいの気持ちのよい学校にしたいと思えます。いつも登下校を見守って下さっている方々へのあいさつについても指導をしています。ご家庭や地域でも、声を掛け合ってください。よろしくお願いたします。

○運動場の一部しか使用できません。ご協力下さい

運動場の雨水貯留施設工事で3月末まで工事を行っています。運動場の遊具付近は天気の良いときは使えますが、工事のために鉄板が置かれたりしてころぶと危険です。外に出るときは教師が指導していますが休みの日等には監視員はいません。鉄板が雪に隠れたりしているので注意が必要です。子どもたちに危険がないように指導します。ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。また、車の駐車はできませんのでよろしくお願いたします。

○雪道での安全確保のご協力をお願いします

雪道では、滑りやすくなったり雪のため道幅が狭くなったりします。いつもよりも車等に気をつけて下さい。また、5・6年生は、学校の周りの雪かきをします。平常より早く登校する曜日がありますので、ご協力をお願いします。また、通学路の除雪のご協力をお願い致します。

○1月27日（金）は[絆活動の日]です、みなさんご参加下さい

絆活動の日の取組の一つとして、親子清掃を行います。その後、授業参観・スクールフォーラム・今年度最後の学級懇談会と続きます。多くの皆さんの参加をお願いします。